



アカヤシオ [八汐躑躅]

5本の樹

落葉 / 低木 / 木本植物 / 在来種



科名 ツツジ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

葉の展開前に淡いピンク色の花をつけるためひととき美しい。白い花をつけるシロヤシオと一緒に植えられることもある。どちらも枝先に5枚の葉を輪生させるようにつける。涼しい山地の岩場に生育し、日光や赤城山周辺などに自生地がある。温暖な平野部では衰退しやすい。



葉



花



花拡大



紅葉

Memo

アカヤシオ、シロヤシオ、ムラサキヤシオツツジは総称してヤシオツツジと呼ばれることがある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実					(花後にできる蒴果(さくか)は花殻とともに除去する)								
紅 葉												■	
施 肥		■								■			
剪 定							■						
							★★ (花後早めに)						
		★：花芽分化の時期 (分化後に剪定すると花付が少なくなる)											

好みの環境				
日当たり	陽	○	○	陰
土 壤	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強		○	弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○	○	○			

ポイント


自然樹形を活かし野趣を味わいたいツツジ。日当たりと風通しのよい乾燥気味の場所を好み、強い日差しや西日、高温は苦手。繁殖力が弱く、実生から育てられるため開花まで4～5年かかる。

剪 定

枝先に花をつけることもあり、剪定は最小限にとどめ自然樹形を楽しみたい。背丈以上に育つと花付もよくなる。邪魔な枝は枝先を剪定するのではなく、根元から切り詰めると樹形を損なわない。

病虫害

夏の高温時に乾燥すると、グンバイムシやハダニが発生し、葉が白っぽく変色しやすい。駆除し充分灌水する。新芽や蕾を食害するベニモンアオリンガが発生することがある。

呼べる蝶  コツバメ・ヒメシジミ・クロシジミ